

あすなろ

2009 No. 57
春号

ご自由にお持ち帰り下さい。



社会医療法人認定について……………P2
切らずに結石を治せる
体外衝撃波結石破碎 (ESWL) による治療について……………P4
薬局的納得話 ………………P6

皆様の声……………P7
新入医師紹介……………P8
ボランティア募集・
出前講演会ははじめます……………P9
あなたの町のお医者さん…………… P10



社会医療法人
かりゆし会

ハートライフ病院
<http://www.heartlife.or.jp/>



ASUNARO

社会医療法人に認定されて

院長 奥島 憲彦



「救急車は断らない」 より安心な救急医療体制を目指して—————

7月を迎え連日真夏日が続いておりますが、皆様元気にお過ごしのことと存じます。

さて、かりゆし会ハートライフ病院は平成21年3月1日付けで沖縄県知事から中頭病院とともに沖縄県第一番目の「社会医療法人」に認められました。「しゃかいいりょうほうじん」で何でしょうか？50歳代の方は「あー、♪♪子供たちが 空に向かい 両手を広げ♪♪」と口ずさむかもしれません。それは久保田早紀が歌った「異邦人 (いほうじん)」です。

「社会医療法人」とは崩れつつある日本の医療をより良くするために厚生労働省が平成20年より創設した新しい制度です。皆様ご存じの様に小泉内閣から始まった毎年2200億円の医療福祉費削減政策の影響もあり、全国で経営がうまくいかなかった病院が続出し、救急車の搬送拒否などが見られ日本中で医療崩壊が起

こっています。特に県立病院など自治体病院での収益の悪化、医師の減少は顕著で閉鎖せざるを得ない病院も続出し、福岡県では県立病院は



院長 奥島 憲彦

ゼロになりました。そこで、これまで主に公的病院がになってきた国民の命を守る「救急医療」「災害時の医療」「へき地の医療」「周産期（産科、新生児）医療」「小児医療」の5事業を今後も公的病院だけで維持していくのは難しいと考えました。5事業のそれぞれに、例えば「夜間の救急搬送件数750件/年以上」などいくつかの高いハードルを設け、それをクリアできた民間の総合病院を「社会医療法人」と認定し「準公的病院」と位置づけ、公益性の高い医療を継続的に担って行く様にしました。「社会医療法人」はそれ以外にも「解散するときは財産は国、県に帰属する」などクリアしないといけないいくつかの条件があるため全国でも70病院程度しか認定されていません。また認定されると病院にとっては税の軽減などいくつかの特典も与えられています。

ハートライフ病院はこれまで内科、外科、整形外科、循環器内科、脳外科で24時間の救急

医療を行ってきました。そのため「社会医療法人」を「救急医療」で申請し、承認されました。

これからも、準公的病院の自覚も持ちながら中城村、西原町、宜野湾市を中心とした地域住民の皆様の信頼により一層応えられる「救急医療」を実践していきたいと思います。

現在、医師を中心としたスタッフの数も私たちが理想としている救急医療体制とはほど遠い状態です。しかし、今年は24時間救急医療に対応できる救急総合診療部を強化し、充実した体制づくりに努力しています。「救急車は断りません」を合言葉に当院のスローガンである「笑顔で親切ハートライフ病院」を全職員で実践していきたいと思います。



夜間のハートライフ病院救急センター

この日は30分ほどのうちに3台の救急車が患者を搬送してきた。

切らずに結石を治せる

体外衝撃波結石破砕 (ESWL)



泌尿器科部長

嘉川 春生

1991年 琉球大学医学部卒業
琉球大学医学部附属病院、浦添総合病院、豊見城中央病院、新村病院などを経て、2002年よりハートライフ病院泌尿器科に勤務。

日本泌尿器科学会専門医
日本透析療法学会認定医
日本インポテンス学会会員



2002年3月、当院に体外衝撃波尿管結石破砕装置（以下 ESWL）が導入されました。

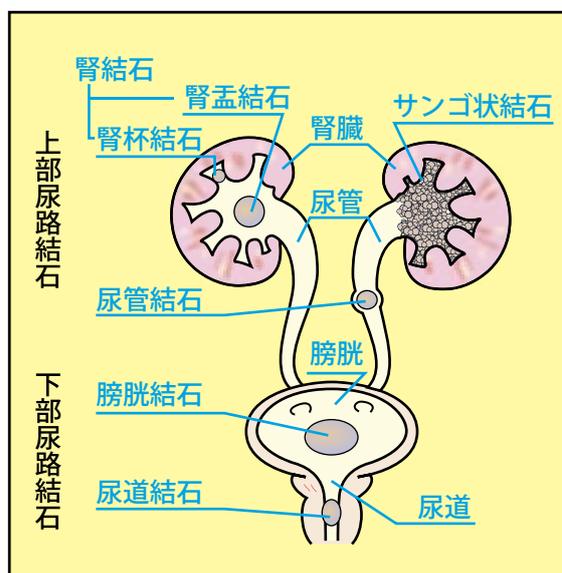
ESWL は、画期的な尿路結石治療法として1980年代に登場し、瞬く間に世界中に広がりました。それ以前は、自然排石できない場合開腹手術により結石を除去していましたが、ESWL 登場後手術はほとんどなくなりました。“切らずに治せる” 革命的な治療法なのです。

実際の治療法ですが、座薬などの痛み止めの後、台の上に仰向けになります。そして背中に衝撃波発生装置を接触させます。ちょうどバレーボールでも押し付けるような感じです。以前は、バスタブにつかる機械もありましたが、今はドライタイプが中心です。約1時間で3000発の衝撃波を発射しますが、イメージとしては、虫めがねで太陽光線を1点に集め紙

が燃やせるような感じです。

衝撃波を体の外から体内の結石に音響レンズで収束させると、焦点で強いエネルギーが発生

● 尿路結石の種類 ●



ESWL)による治療について

文：嘉川 春生

泌尿器科 大城 琢磨

2001年 琉球大学医学部卒
琉球大学医学部附属病院、県立
宮古病院、那覇市立病院、埼玉
医科大学国際医療センターなど
を経て、2009年よりハートラ
イフ病院泌尿器科に勤務。

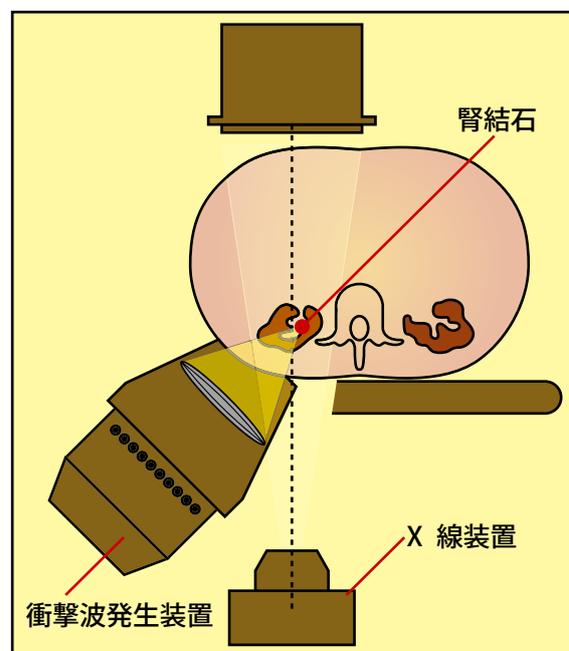
日本泌尿器科学会専門医



し石を破壊することができるのです。衝撃波は、やわらかい組織は通過し、石のような硬いものを破壊するのです。石の大きさにもよりますが、1回から数回の治療を必要とする場合もあります。

合併症としては、疼痛や血尿がありますが、疼痛はほとんどの場合坐薬で対処可能です。血尿は2、3回で改善します。また、当院の特徴として、初回治療時1日入院とし2回目以降は外来治療で行っております。日常生活に支障の少ない治療計画としております。

● ESWL のしくみ ●



泌尿器科では、専門医2名で体外衝撃波結石破碎装置による結石治療のほか、前立腺肥大症や尿失禁などの排尿障害治療、前立腺癌や膀胱腫瘍、腎腫瘍などの手術・治療を行っています。お悩みの症状がありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

薬局的納得話



薬剤師
原田 義文

▶ 新型インフルエンザと薬

この記事を書いているのが、新型インフルエンザ(豚インフルエンザ)が大流行を始めた5月。この記事が皆様に読まれる頃には、新型インフルエンザの脅威が終息していることを祈りながら、この文章を書いています。流行が続いているかもしれないと想定して、今回はインフルエンザに効くワクチン、薬についてお話しします。

○もっとも有効な予防法はワクチン接種

インフルエンザにはやはり罹らないことが一番。そのためにはワクチンを接種して免疫をつける必要があります。しかしながら、今回のインフルエンザウイルスは新型であるためワクチンは今のところありません。ワクチンは製造準備中とのことです。

新型とはどういうことか。つまり今までに人が感染した事がない種類のウイルスだということです。インフルエンザウイルスと一口に言っても、実に様々な種類があり、毎年季節的に流行するウイルスも毎年種類が違います。そのため、一度ワクチンを接種して免疫がついても、翌年のウイルスには無効です。去年ワクチンを接種したから新型インフルエンザも大丈夫という誤解はなされないようお願いします。

○インフルエンザの増殖を抑える薬

なぜワクチン接種が一番の薬かと言うと、インフルエンザの薬は決して特效薬ではないからです。インフルエンザの薬としてはA、B型インフルエンザに有効な内服薬“タミフル”、吸入薬の“リレンザ”、A型インフルエンザのみに有効な内服薬“シンメトレル”があります。どの薬も効き目は同じ。ウイルスの増殖を抑えること

でインフルエンザを治療します。つまり、ウイルスをやっつけるのではなく、あくまで増やさないということです。これはどういうことかというと、ある程度以上ウイルスが増えてしまうと、手遅れで効果がないということです。一般的にウイルス感染から48時間以内に使用するのが最も効果的と言われています。インフルエンザは全く症状がない潜伏期間が約24時間あると言われていますから、症状が出てから24時間以内ということになります。遅くともインフルエンザ様症状がでて、48時間以内には投与しないと効果は期待できないとされています。症状が出たらできるだけ早く病院へ受診し、治療をすることが必要です。

○タミフルと異常行動

タミフルと言えば10代の患者が異常行動で事故(飛び降り、飛び出し)に遭い死亡するという事例が立て続けにおこり、国民の不安の声を呼びました。この事例を受けて厚生労働省はタミフルの10代患者への使用を制限するよう指示を出しました。この異常行動がタミフルの影響によるものかは物議をかもしており、判断は難しいところです。インフルエンザは非常に高い熱が出ます。それによって異常行動が惹き起こされたのではないかという説もあります。薬剤師としてはタミフルを使用する方には家族の皆様にも十分注意してもらいながら使って下さいとしか申し上げられないのが現状です。タミフルは新型インフルエンザにも有効な薬です。「タミフル=異常行動」という決め付けはなされず、必要なときは十分に注意をして使用してください。

平成21年度 入職式 新入医師紹介



4月1日に入職式が行われました。

今年は、医師12名、研修医5名を含む50名の方が新しくハートライフ病院の職員となりました。

社会人一年生には、優しくも厳しい新人研修が行われました。これから医療人として患者さんに接する彼らへ、当院をご利用される皆様の温かいご指導をお願いいたします。

4月より心療内科が開設されました。また、1名体制だった小児科医の増員、各科の医師増員でさらに診療体制の充実を目指して参りますので、よろしくお願いいたします。

新入医師・研修医については、写真付きで紹介いたします。

心療内科



菅野 善一郎

糖尿病センター



渡辺 蔵人

小児科



国島 知子

小児科



首里 京子

血液内科



宮城 敬

血液内科



大濱 喜代人

外科



豊田 亮

外科



伊禮 靖苗

泌尿器科



大城 琢磨

整形外科



渡辺 美和

眼科



親川 格

耳鼻咽喉科



親泊 美香

研修医



小豆沢 浩司

研修医



新垣 珠代

研修医



喜瀬 乗基

研修医



喜久本 藍

研修医



金城 太貴

研修医



圓若 修一

ボランティア活動

参加者大募集中!!

当院では、患者さんの病気が1目でも早く治るように、より快適な療養環境をめざし「お花いっぱい運動」を行っています。ご協力頂ける方は、総務課までお問い合わせ下さい。

活動内容：毎月第2土曜日に、院内の花壇づくりを行っています。
お問い合わせ先：ハートライフ病院総務課 比嘉

中城村・西原町・宜野湾市の皆さん!!

出前健康講演会はじめます

地域の皆さんの健康維持・向上に一役買いたい。そんな思いから、無料の出前講演会をはじめます。

対象は、中城村・西原町・宜野湾市にある自治会などの団体、企業の方で会場をご準備いただける方(公民館や会議室)。

お申し込みやお問い合わせは、ハートライフ病院地域医療連携室まで。講演内容については、ご相談下さい。

1つの講演会で20名以上のご参加をお願いします。少人数でお申し込みの場合は、他の方のお申し込みと合わせて開催する場合があります。また、診療の都合により、ご希望に添えない場合がありますのでご了承下さい。

お問い合わせ先：ハートライフ病院地域医療連携室
電話 (098)895-3255 (代)

受けましたか? 特定検診

特定検診は、健康保険に加入している40歳から74歳までの方を対象に義務づけられた検診です。特定検診では、腹囲の測定を行って男性は85cm以上、女性は90cm以上の方をピックアップします。さらにその他の検査(血糖値、中性脂肪、HDLコレステロール、血圧)を行い2つ以上の項目が要注意数値を示した人には、特定保健指導が行われることとなります。

特定検診は、人間ドックほどの精密な健康診断ではありませんが、メタボリックシンドロームを予防・発見するためには効果的です。小さな異常を早めに見つけて健康な生活を送るためにも、ぜひ、特定検診を受けましょう。

特定検診に関するお問い合わせは、お住まいの市区町村の窓口または、ハートライフ病院予防医学センターまで。

お問い合わせ先：ハートライフ病院予防医学センター
電話 (098)895-3255 (代)

ASUNARO

心と心をつなぐ 信頼される医療
ハートライフ病院の地域連携

あなたの町のお医者さん

あがりはまクリニック

■診療科目■ 糖尿病、生活習慣病、禁煙外来、甲状腺疾患、内科一般

院長 湧上 民雄 先生

この度、与那原町東浜に生活習慣病専門クリニックあがりはまを開設しました。与那原町東浜は道が広く公園がたくさんありスポーツ施設も充実しております。当院と道を隔ててキラキラビーチという人工のビーチやマリナーがあり大変開放的な環境です。

生活習慣病の治療においてはこれまでの生活習慣を変えていくことが必要です。アルコール多飲、喫煙、不規則な偏った食習慣など、解決の難しい問題がたくさんあります。患者の生活の背景、心理状態を十分把握することが指導の第一歩だと考えています。どの患者にも同じ処方箋ではなく、患者との対話の中でその理由を見つけ、その方にあった目標を設定し指導するいわゆるテーラーメイドの医療が生活習慣病の治療においては欠かせないものだと考えております。またスタッフがおのおのの技術を生かして協力していくチーム医療も欠かせないものです。

当院ではできるだけ患者の言うことに耳を傾け、相手を理解する医療をスタッフともども心がけております。



湧上民雄。沖縄県南城市玉城出身。医学博士。神戸大学を卒業後、琉球大学医学部大学院へ進学。卒後は県立宮古病院、大浜第一病院、沖縄メディカル病院、大道中央病院での勤務を経て、平成20年12月にあがりはまクリニックを開院。内科認定医、糖尿病専門医、糖尿病指導医



受付

待合室

診療時間

時間	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:30	◎	◎	◎	◎	◎	◎
14:00 ~ 18:00	◎	休診	◎	◎	◎	◎

休診：日曜日・祝祭日・年末年始・火曜日の午後

アクセス



〒901-1304 沖縄県島尻郡与那原町東浜68番1-2
電話:(098) 882-0020 FAX:(098) 944-5561
東陽バス30番・泡瀬東線「与那原」下車。徒歩500mです。



よくあるギモンにお答えします

地域医療連携室



- Q. 初診でハートライフ病院を訪れた時に、相談窓口で「ご近所の医院を紹介しますから、そちらに行かれた方がいいですよ」と言われました。なぜですか？
- A. 初診での受診には初診時特定療養費がかかるため、場合により地域の診療所などを紹介しています。初診時特定療養費とは、病院と診療所の機能分担を推進するために国により定められた制度で、他の医療機関等からの紹介状なしに、初診料の算定要件を満たした病院において初診で受診した場合、初診料以外に病院で定めた金額を徴収できる制度です。ただし、救急車等緊急での来院や、他の医療機関等から紹介状がある場合などは、初診時特定療養費は必要ありません。また、初診の方を受け付けないわけではありません。

ハートライフ病院の理念

わたしたちは、心と心をつなぐ信頼される医療を目指します

ハートライフ病院の基本方針

1. 急性期医療（質の高いチーム医療）
2. 地域完結型医療（地域保健・医療・福祉施設との連携）
3. 救急医療（24時間二次救急）
4. がんの予防と治療
5. 研修教育病院
6. 健全な医療経営
7. 笑顔で親切

患者さんの個人情報の保護について

当院では、患者さんに安心して医療を受けていただくために、安全な医療をご提供するとともに、患者さんの個人情報の取り扱いにも、万全の体制で取り組んでいます。

■個人情報の利用目的について

当院では、患者さんの個人情報を下記の目的で利用させていただきます。これら以外の目的で利用させていただく必要が生じた場合には、改めて患者さんから同意をいただくことにしております。

■個人情報の開示・訂正・利用停止について

当院では、患者さんの個人情報の開示・訂正・利用停止等につきましても『個人情報の保護に関する法律』の規定にしたがって進めております。

手続の詳細のほか、ご不明の点につきましては窓口までお気軽におたずね下さい。

■当院における患者さんの個人情報の利用目的

1. 院内での利用
 - (1) 患者さんに提供する医療サービス
 - (2) 医療保険事務
 - (3) 入退院等の病棟管理
 - (4) 会計・経理
 - (5) 医療事故等報告

- (6) 当該患者さんへの医療サービスの向上
 - (7) 院内医療実習への協力
 - (8) 医療の質の向上を目的とした院内症例研究
 - (9) その他、患者さんに係る管理運営業務
 2. 院外への情報提供としての利用
 - (1) 他の病院、診療所、助産院、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者などとの連携
 - (2) 他の医療機関等からの照会への回答
 - (3) 患者さんの診療等のため、外部医師等の意見・助言を求める場合
 - (4) 検体検査業務等の業務委託
 - (5) ご家族等への病状説明
 - (6) 保険事務の委託
 - (7) 審査支払機関へのレセプトの提出
 - (8) 審査支払機関または保険者からの照会への回答
 - (9) 事業者等から委託を受けた健康診断に係る、事業者等へのその結果通知
 - (10) 医師賠償責任保険等に係わる、医療に関する専門の団体や保険会社等への相談または、届出等
 - (11) その他、患者さんへの医療保険事務に関する利用
 - (12) 臨床研究及び学会等の発表に関する利用
 3. その他の利用
 - (1) 医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
 - (2) 外部監査機関への情報提供
1. 上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意がたい事項がある場合には、その旨を担当窓口までお申し出ください。
 2. お申し出がないものについては、同意していただいたものとして取り扱わせていただきます。
 3. これらのお申し出は、後からいつでも撤回・変更等を行うことができます。

扉絵作者紹介

今回の扉絵は、上田小学校4年 具志 銀汰朗さんの作品です。

「ザリガニとおたまじゃくし」

ザリガニとおたまじゃくしがみんなで川で遊んでいるところです。ザリガニとおたまじゃくしがもっと仲よくなるといいです。



絵画提供：あがペエ子供造型教室 TEL：(098) 856-8643

最新の医療技術と最高のスタッフで、あなたの健康をくまなくチェックします。



お問い合わせは、ハートライフ病院 メディカルサービスセンターまで。
電話(098) 895-3255(代表)

あすなろ No.57 春号

編集発行人/社会医療法人かりゆし会

 **ハートライフ病院 広報委員会**

制作/広報委員会 所在地/沖縄県中城村字伊集 208 5098-895-3255

URL / <http://www.heartlife.or.jp/> E-mail / info@heartlife.or.jp

診療科目

2009年4月1日現在

- | | | |
|-----------|-------------|-----------------|
| ●内科 | ●泌尿器科 | ■予防医学センター |
| ●呼吸器科 | ●産婦人科 | 人間ドック(宿泊・半日ドック) |
| ●消化器科(胃腸) | ●眼科 | ■糖尿病センター |
| ●循環器科 | ●肛門科 | ■内視鏡センター |
| ●小児科 | ●耳鼻咽喉科 | ■人工透析 |
| ●外科 | ●リハビリテーション科 | |
| ●整形外科 | ●放射線科 | |
| ●皮膚科 | ●麻酔科 | |
| ●脳神経外科 | ●心療内科 | |

診療時間

月～金 午前/ 9:00～12:00
午後/ 14:00～17:00
土 午前/ 9:00～12:00
土曜日の午後・日曜日・祝日は休診です。

※左記以外の時間は救急扱いとなります。
※診療時間は、科により変更される場合があります。
※心療内科は外来のみです。入院治療・救急対応は行っておりません。

24H ER 2次救急指定病院

病床数300床 無料個室177床 有料個室55床

地域医療支援病院

解放病床22床・医療機器共同利用

 日本医療機能評価機構
一般病院認定

医師卒後臨床研修指定病院

 卒後臨床研修評価機構
認定病院

日本がん治療認定医機構
認定研修施設

